



「選抜は始まっている」 「選択は始まっている」



学年末、皆さんの各教科の成績が5段階の評定として出されます。それを平均したものが評定平均で満点は5.0です。大学や専門学校の推薦入試には、多くの場合「評定平均4.5以上」のような出願条件があります。当然、質の高い授業をする学校や人気のある学校はこの推薦基準を高く設定しますが、なかなか学生が集まらない経営の厳しい学校はこの基準を低く、あるいは基準すら取っ払って学生を確保しようとします。進学にはほぼ同じだけの学費がかかるのに、評定平均が高いか低いかで、推薦される学校に天と地ほどの差が生まれるのです。その意味で、表題の通り「選抜はもう始まっている」と言えます。

就職希望者も人ごとではありません。大抵の企業は「評定平均はこれくらい欲しい」という採用基準をもっています。中には「国語と数学が4.0以上」など、特定の科目に注目する企業もあります。人材確保に苦労している会社、「とにかく元気があればできる」という仕事内容で募集している会社は「成績は不問」とする場合がありますが、欠席日数などと同様に、各教科の成績は受験者の能力や勤勉さをうかがうための判断材料となります。

皆さんがコツコツと自分を律してテスト勉強をして優秀な成績を積み上げていけば、2年後の進路選択の際、チャレンジできる学校や企業が確実に増えます。その逆に、1年生で取ってしまった悪い成績は2年生、3年生になってから上書きできません。いくら後悔しても、あきらめるしかないのです。なお、2年生、3年生になってからの学習内容は今より確実に難しいものになっていますから、今勉強から逃避し始めると、この先がとても苦しくなります。

「未来を選べ。人生を選べ。」とはイギリスの青春映画「トレインスポッティング」の名フレーズです。ここで勉強するかしないかの選択は人生を分ける、その意味で「選択は始まっている」と言えます。皆さんはきっと「がんばれる人」です。自分でもそう信じるのが大切です。この期末テストで、明るい未来への希望を感じさせる、いい一手を打ってください。

●ワンポイント 自学のコツ

① 頭を働かせずに手を動かすのは、ただの作業です

⇒覚えたものを何も見ずに書く、ヒントなしで問題を解く、

「時間を置いて思い出す」を反復しよう

② 「どのように出題されそうか」を意識して覚える

例) **地理** カナダの州の名前をがんばって暗記した！アルバータ州！

サスカチュワン州！マニトバ州！オンタリオ州！ケベック州！よしっ！

<<テスト本番>>問. カナダの小麦三州の名を書きなさい。

→……。せっかく州の名前を覚えたのに正解できなかった

⇒用語を問う問題は、用語と特徴がセットで出題されるので必ずセットで覚える

③ 「いつその解き方を使うのか」を明確に理解しておかないと、解き方を使いこなせない 例) 数学



大間原発&六ヶ所原燃見学の様子



耐久遠足の様子

